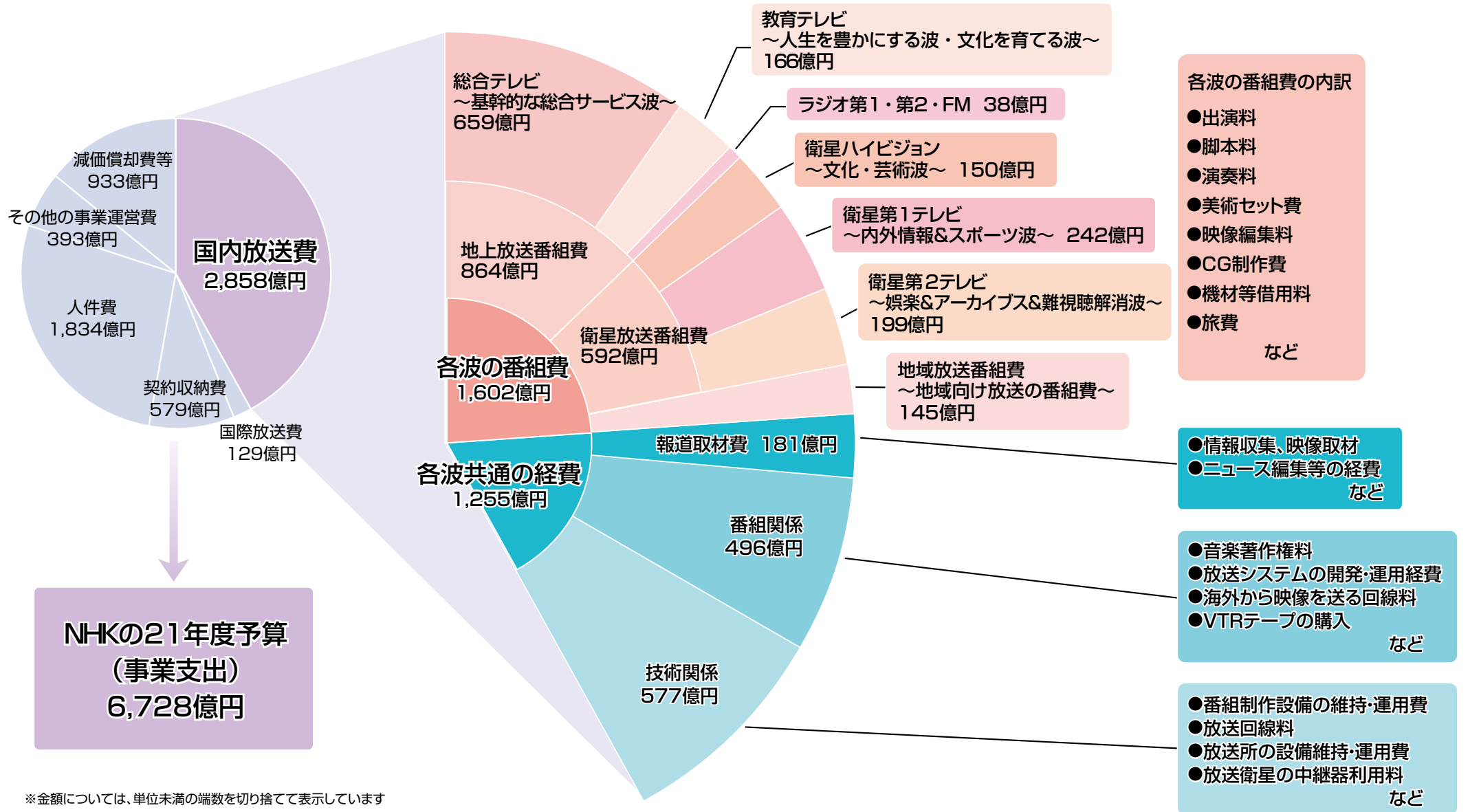


# NHKの放送予算について

○平成21年度のNHKの事業支出総額6,728億円のうち、最も大きな割合を占めるのが番組の制作や全国への電波送信に要する「国内放送費」です。その「国内放送費」2,858億円の内訳についてご説明します。



※金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています

# NHKの放送予算について

## ～平成21年度の主な取り組み～

NHKは平成21年度“NHKだからできる”放送を通じて社会や文化の発展に尽くし、視聴者の期待に応えます。各放送波が重点的に取り組む事項をご説明します。

### 国内放送の重点事項

- 報道・ジャーナリズムの強化
- 高品質で、インパクト・競争力のある大型コンテンツの提供
- 幅広い視聴者層に向けた多様で質の高い番組の充実
- 多様なニーズに対応する衛星デジタル放送の実施
- 「いつでも、どこでも、もっと身近に」(NHK コンテンツの“3-Screens”展開)
- 「放送局のちから」を発揮して、個性を引き出す放送・サービスの展開
- 地域に密着した多様なサービス実現のための体制強化

※金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています

**総合テレビ**  
659億円(635億円)

- 平日夜10時台を刷新し“働き盛り”の世代に向けた放送を充実
- 視聴者の関心に速く深く応える情報番組や親しみやすい大型番組を新設し、土曜の夜の編成を刷新
- 3か年にわたる大型企画「プロジェクトJAPAN」を始動

**教育テレビ**  
166億円(155億円)

- 放送開始50周年関連番組の編成
- 4～5歳向け番組の新設等、幼児向け番組の充実
- ティーンズや若者向け番組の拡充

**ラジオ第1・第2・FM**  
38億円(37億円)

- “ラジオルネサンス”のさらなる進化、ニュース・報道番組の充実・強化
- 多メディアを駆使した魅力的な学習サービスの実施
- 優れた音質を生かした多彩な音楽番組や幅広い聴取者が楽しめるさまざまな分野の長時間特集を編成

**衛星ハイビジョン**  
150億円(145億円)

- スケール感、存在感に富んだジャンル別の定時番組の新設
- 国際共同制作等、さまざまなスキームによる多様なコンテンツの制作
- 地域からの情報発信の強化

**衛星第1テレビ**  
242億円(237億円)

- 若い世代に向けた国際情報番組の新設
- 海外取材ドキュメンタリーの充実
- スポーツ番組の強化

**衛星第2テレビ**  
199億円(196億円)

- 30代から50代の女性層に向けた放送の充実
- 若者に向けた放送の充実
- 高齢者層に向けた時間帯の充実

**地域放送**  
145億円(141億円)

- 放送局は地域の拠点として、独自の取り組みで地域の存在感の向上を図る
- 地域を見つめ、地域とともに考える報道・番組を強化

( )内は20年度